

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 32 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 6 年 8 月

長浜商工会議所

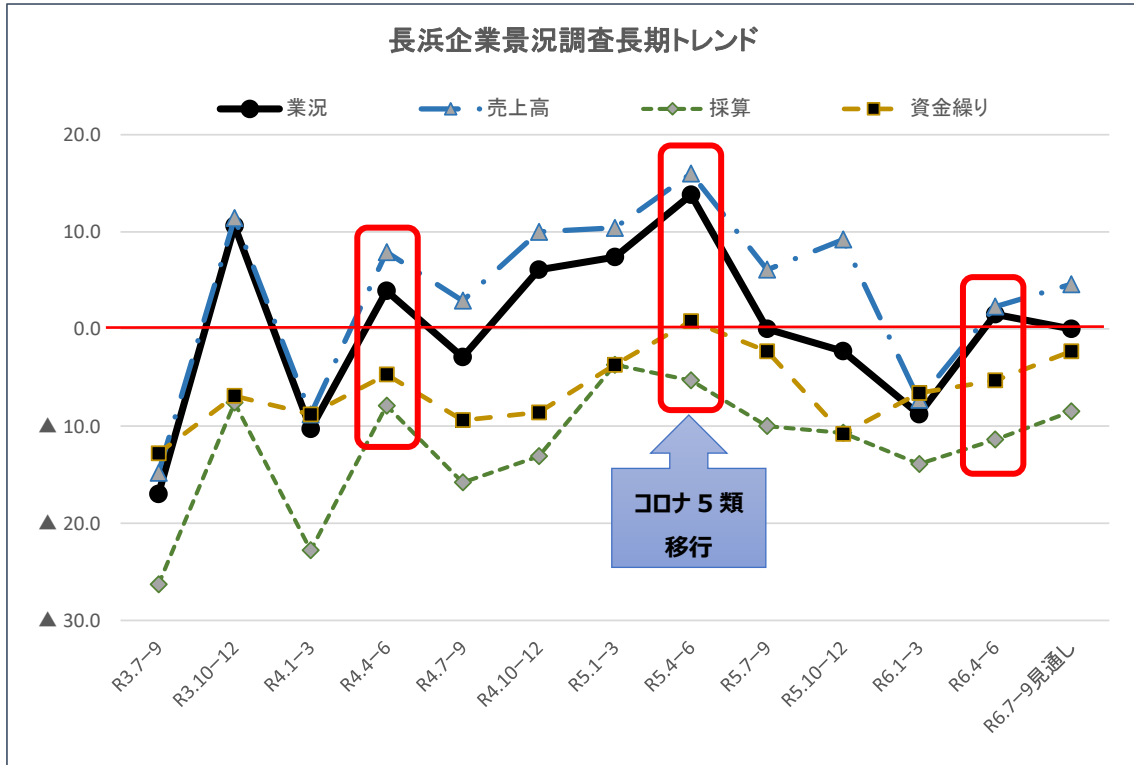
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査：各種DIの長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査：設備投資計画と業況DIの長期推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	5
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	7
3. 近畿の景況	
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）	8
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	8
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	9
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	11

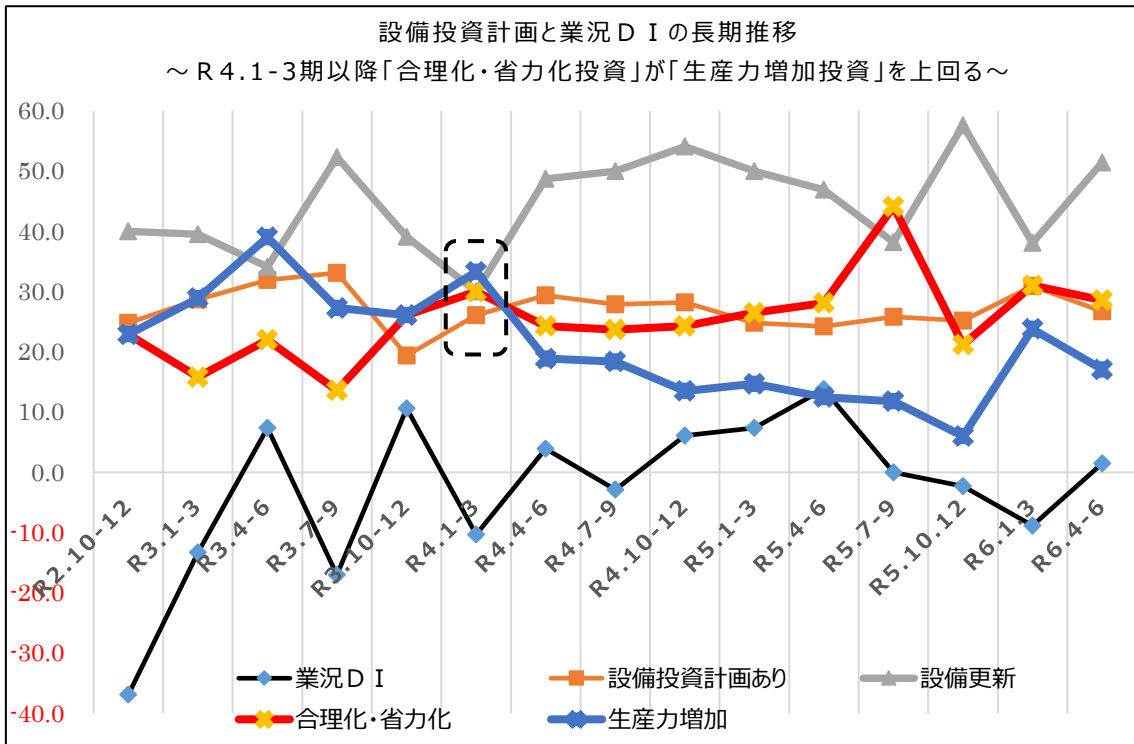
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



(2) 長浜企業景況調査…設備投資計画と業況D I の長期推移



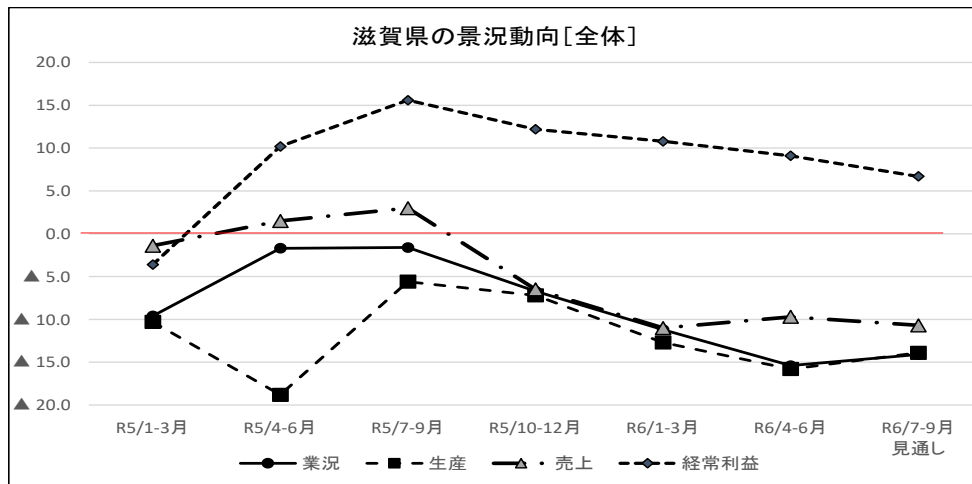
2. 滋賀県の景況

(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

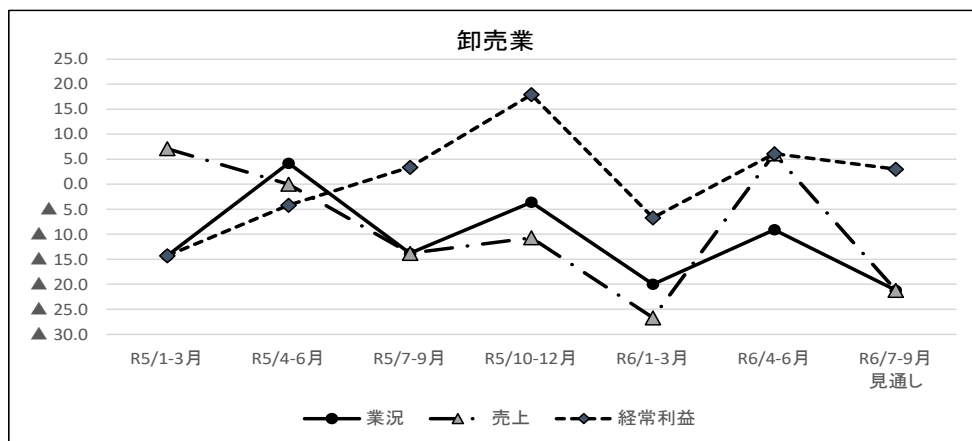
① 滋賀県の業種別景況動向（表中の傾向欄…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。）

（R6/4-6月実績、R6/7-9月見通し）〔前年同期比較〕

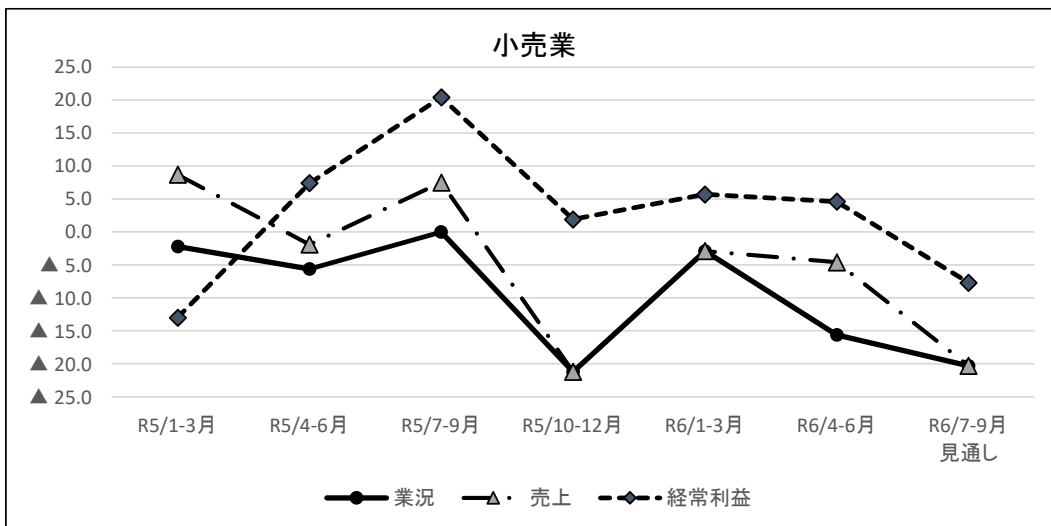
全体	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月 見通し
業況	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 14.1
生産	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 13.9
売上	▲ 1.4	1.5	3.0	▲ 6.5	▲ 11.0	▲ 9.7	▲ 10.7
経常利益	▲ 3.6	10.2	15.6	12.2	10.8	9.1	6.7
雇用の水準	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 43.3	▲ 37.1	▲ 41.1	▲ 34.3	▲ 37.8
傾向	×	●	●	×	×	×	●



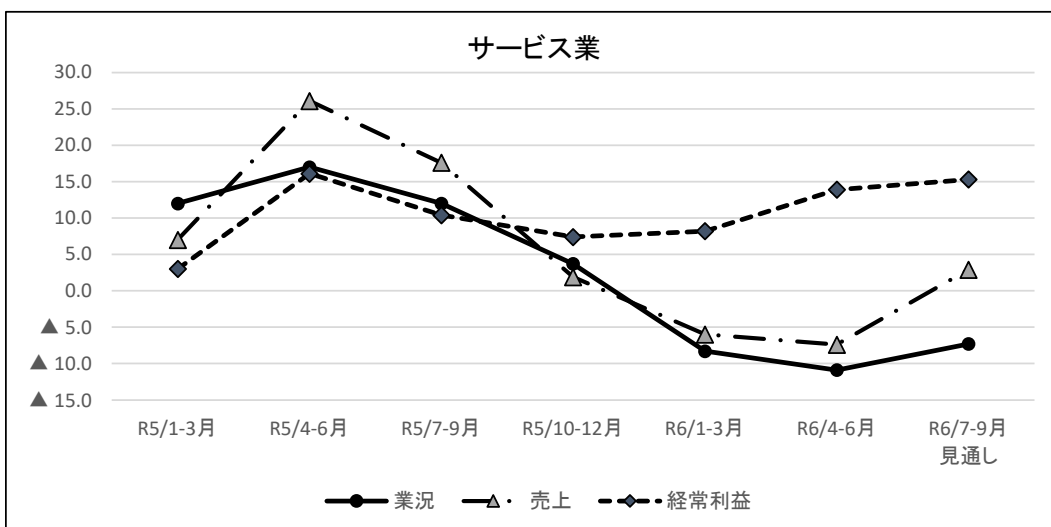
卸売業	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月 見通し
業況	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 21.2
売上	7.1	0.0	▲ 13.8	▲ 10.7	▲ 26.7	6.1	▲ 21.2
経常利益	▲ 14.3	▲ 4.2	3.4	17.9	▲ 6.7	6.1	3.0
資金繰り	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 10.3	▲ 7.1	▲ 6.9	▲ 18.2	▲ 15.2
傾向	●	●	×	●	×	●	×



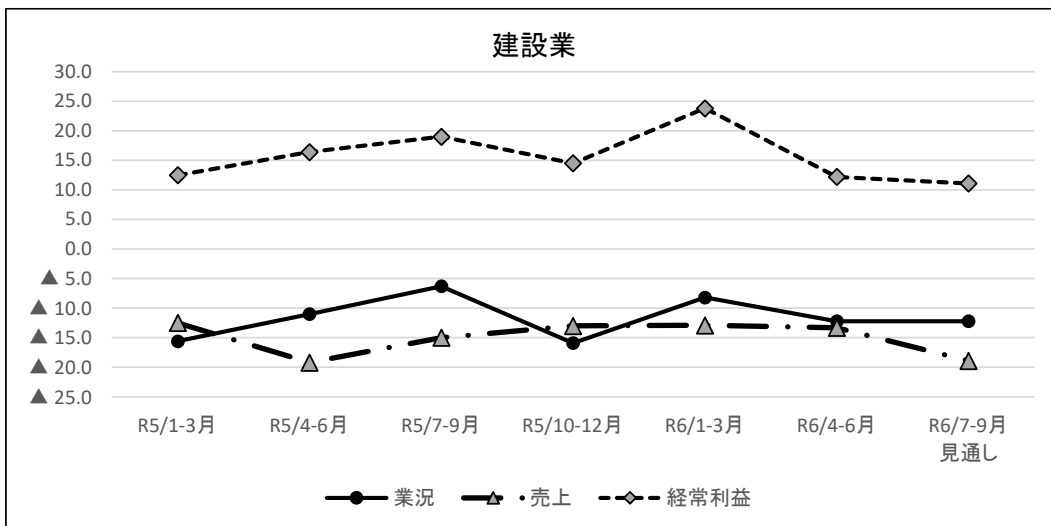
小売業	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月 見通し
業況	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 20.3
売上	8.7	▲ 1.9	7.5	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 4.6	▲ 20.3
経常利益	▲ 13.0	7.4	20.4	1.9	5.7	4.6	▲ 7.7
資金繰り	▲ 15.2	▲ 26.4	▲ 18.5	▲ 11.5	▲ 12.9	▲ 9.2	▲ 15.4
傾向	●	×	●	×	●	×	×



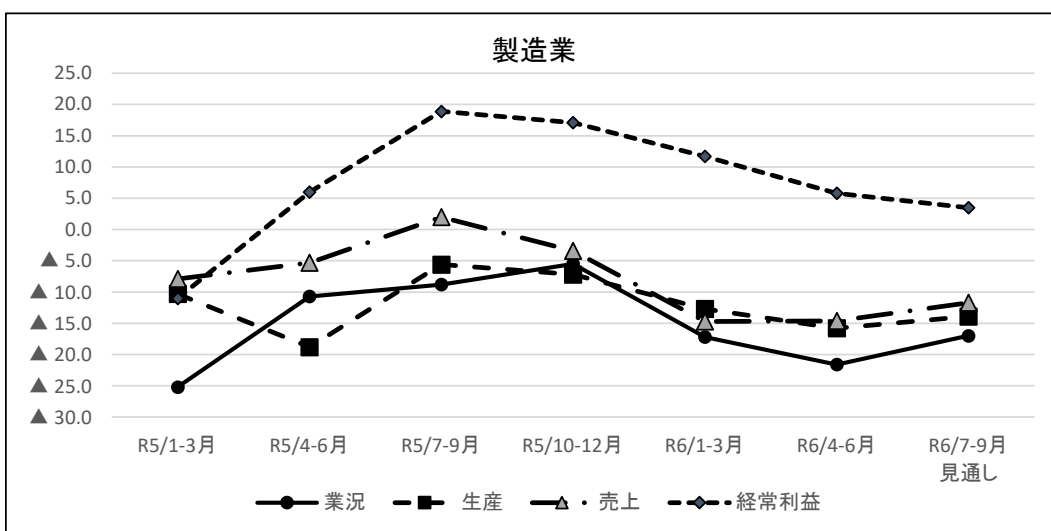
サービス業	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月 見通し
業況	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 8.3	▲ 10.9	▲ 7.3
売上	7.0	26.1	17.6	1.9	▲ 6.0	▲ 7.4	2.9
経常利益	3.0	16.1	10.4	7.4	8.2	13.9	15.3
資金繰り	▲ 11.1	▲ 0.9	4.0	▲ 11.1	▲ 16.5	▲ 4.4	▲ 5.9
傾向	●	●	×	×	×	×	●



建設業	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月 見通し
業況	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 12.2
売上	▲ 12.5	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 13.0	▲ 12.9	▲ 13.3	▲ 18.9
経常利益	12.5	16.4	19.0	14.5	23.8	12.2	11.1
資金繰り	▲ 15.6	▲ 4.1	▲ 5.0	▲ 5.8	1.2	▲ 1.1	▲ 5.6
傾向	●	●	●	×	●	×	▲



製造業	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月 見通し
業況	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 17.0
生産	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 13.9
売上	▲ 7.9	▲ 5.3	2.0	▲ 3.4	▲ 14.7	▲ 14.6	▲ 11.7
経常利益	▲ 11.0	6.0	18.9	17.1	11.7	5.8	3.5
資金繰り	▲ 18.3	▲ 11.4	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 8.8
傾向	×	●	●	●	×	×	●



② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

滋賀県内企業のコメント (R6/4-6月期)

業況判断【好転】企業コメント

- ・コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、特にレストランの売上額が増加する見通し（サービス業）。
- ・運賃交渉により業績改善の見通し（サービス業）。
- ・コロナの影響による受注の減少で業績が低迷したが、直近では上昇傾向。新規の受注先との商談が進んでいる。ただし人員と原材料の不足が課題（製造業）。
- ・事業再構築補助金を確保し、事業拡張効果が今後現れてくる（製造業）。
- ・HV車（ハイブリッド車）の台数が伸長。売れ筋のSUV（スポーツ用多目的車）も好調。さらに車両価格の値上げにより、各車種の収益性が向上し利益を押し上げた（小売業）。

業況判断【不変】企業コメント

- ・半導体不足による納期遅延もほぼ解消され堅調に推移（小売業）。
- ・現場監督者の不足と資材の高騰の影響はある（建設業）。
- ・石油等高騰が続いており毎月のように商品の値上がりが続いている。売上高は値上げにより不変となるが、仕入額増加のため業績悪化の見通し（小売業）。
- ・悪天候等の要因で食材の高騰が止まらない。上がるたびに値上げできる訳もなく、全然先が読めない(サービス業)。

業況判断【悪化】企業コメント

- ・円安・原材料高の影響が、今年になってから売上の赤字が続いており先行き不透明（卸売業）。
- ・2024年問題が影響し、生産性の低下による売上減少が予想される（建設業）。
- ・中国の景気悪化の影響、ロシア・ウクライナ問題の影響を受けている（製造業）。
- ・円安や仕入コスト高で苦戦をしている（卸売業）。
- ・コストプッシュ分の値上げ反映を行っている関係上、売上は微増。売上増に対して、利益増には繋がっていない（製造業）。
- ・仕入の上昇とともに値上げが出来ればよいが、他社の市況を見ながらで中々出来ず、収益の減少になっている。働き方改革により、休日や残業を考慮すれば就業日数も少なく、比例して売上も減少する（小売業）。

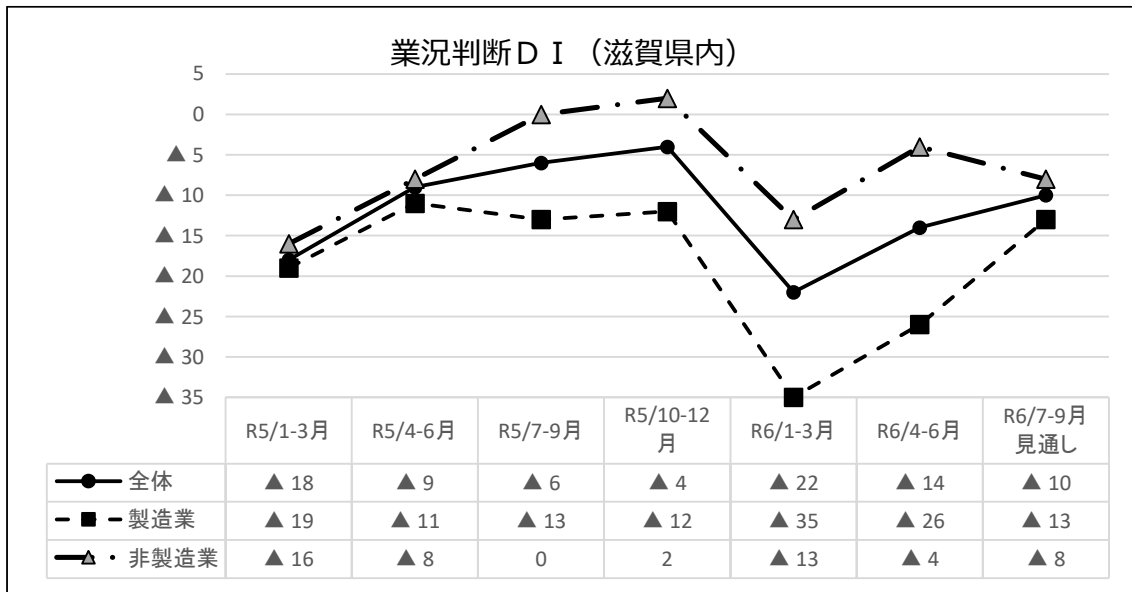
(2) 県内経済概況(株)しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」(令和6年5月ー令和6年7月公表)

R6/4	持ち直しの動きが弱まっている
<p>製造業の生産活動は、生産用機械が前月の反動で大幅低下となり、輸送機械が大手自動車メーカーによる認証不正問題の影響で極めて低水準となっている。需要面では、実質個人消費の伸びは緩やかな上昇にとどまっており、好調が続いていた自動車販売も3か月連続で大幅減少している。投資需要では、民間設備投資が大幅増加に転じたものの、住宅投資が8か月連続かつ大幅減少となり、公共投資も大幅減少となっている。したがって、県内景気の現状は、全体に持ち直しの動きが弱まっているとみられる。</p>	
R6/5	持ち直しの動きがやや弱まっている
<p>投資需要では、民間設備投資が2か月連続で増加し、住宅投資が9か月ぶりに大幅増加となり、公共投資も3か月ぶりの大幅増加となった。一方、製造業の生産活動は、生産用機械や汎用・業務用機械などが前月比で上昇に転じているものの、輸送機械が一部大手メーカーによる認証不正問題の影響により極めて低水準で推移しており、全体での前年比をみると2か月連続かつ大幅低下している。需要面では、実質個人消費の伸びは横ばいにとどまっており、好調が続いていた自動車販売も4か月連続で大幅減少している。したがって、県内景気の現状は、一部に改善の兆しがみられるものの、全体に持ち直しの動きがやや弱まっているとみられる。</p>	
R6/6	持ち直しの動きがやや弱まっている
<p>製造業の生産活動は、輸送機械が4か月連続で低水準となったものの、半導体製造装置生産などが好調な生産用機械が大幅上昇したため、全体では2か月連続で大幅上昇している。需要面では、実質個人消費は伸び悩み、自動車販売も5か月連続で減少している。投資需要では、公共投資が大幅増加しているものの、民間設備投資が3か月ぶりに大幅減少し、住宅投資も2か月ぶりに大幅減少した。したがって、県内景気の現状は、生産の一部で好調な動きがみられるものの、全体に持ち直しの動きがやや弱まっている。</p>	

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R6/4-6月実績、R6/7-9月見通し) [前期比較]



景況感は改善するも、2期連続でマイナス2ケタ台

	回答社数	R6/1-3月期	R6/4-6月期	傾向	R6/7-9月見通し
製造業	114	▲ 35	▲ 26	●	▲ 13
繊維	8	▲ 50	▲ 63	×	▲ 50
木材・木製品	4	▲ 40	0	●	▲ 25
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	8	0	▲ 13	×	▲ 13
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	5	0	40	●	0
鉄鋼	3	▲ 67	▲ 33	●	0
非鉄金属	5	▲ 25	▲ 20	●	20
食料品	10	▲ 18	30	●	30
金属製品	18	▲ 52	▲ 39	●	▲ 17
一般機械	10	0	▲ 20	×	0
電気機械	10	11	▲ 10	×	11
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	24	▲ 43	▲ 50	×	▲ 17
非製造業	149	▲ 13	▲ 4	●	▲ 8
建設	48	▲ 5	▲ 11	×	▲ 11
不動産	13	14	15	●	23
卸売	22	▲ 10	▲ 9	●	▲ 21
小売	22	▲ 15	0	●	5
運輸・通信	13	▲ 69	▲ 15	●	▲ 42
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	21	0	14	●	14
リース	-	-	-	-	-
その他	8	▲ 20	▲ 25	×	▲ 38

③ 県内経済概況「県内景気天気図」[変化方向]

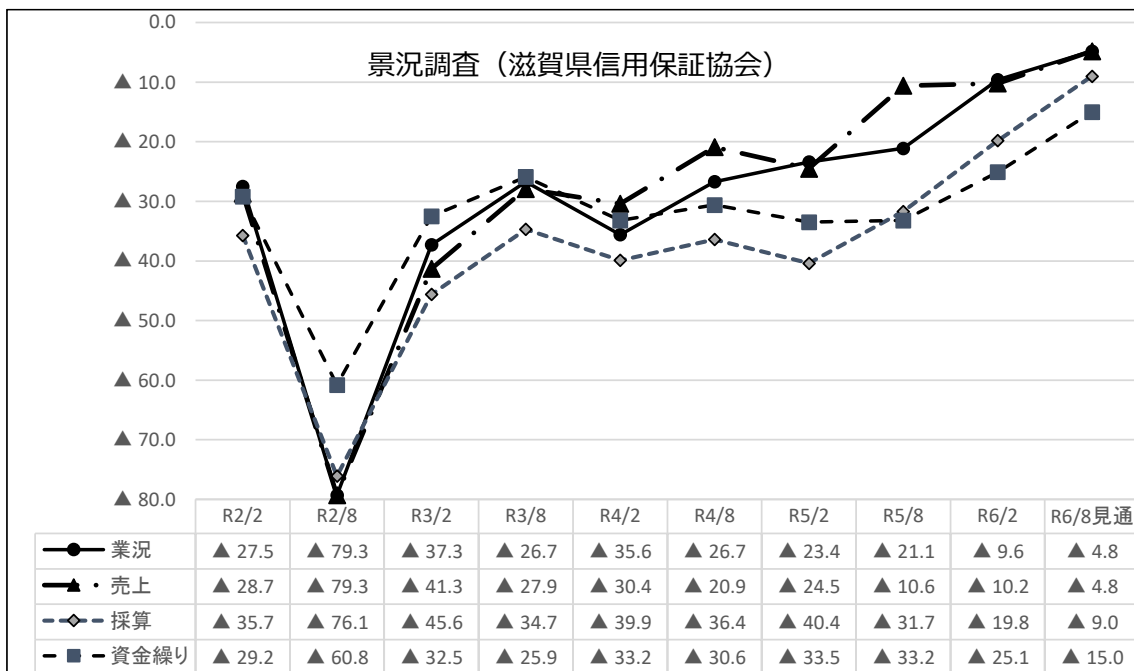
県内景気天気図	R5/12	R6/1	R6/2	R6/3	R6/4	R6/5
現在の景気	▲	×	×	×	▲	▲
生産活動	●	●	×	×	●	●
個人消費	●	×	▲	▲	▲	▲
民間設備投資	×	×	×	●	●	×
住宅投資	▲	×	×	×	●	×
公共投資	●	●	×	×	●	●
雇用情勢	▲	▲	×	▲	▲	×

*変化方向…前月比、●は上昇・好転、▲は横ばい、×は下降・悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R6/2)

実施内容	調査時期：令和6年2月		調査方法：無記名アンケート方式	
		配布数： 500	回答数： 167	回答率： 33.4%
業種構成	建設業 26.9%	サービス業 22.8%	製造業 21.0%	
	小売業 8.4%	運輸通信業 6.6%	卸売業 5.4%	
	不動産業 3.6%	その他 5.4%	回答なし 0.0%	
従業員規模	5人以下： 59.9%	6～20人： 27.5%	21人以上： 12.0%	



3. 近畿の景況

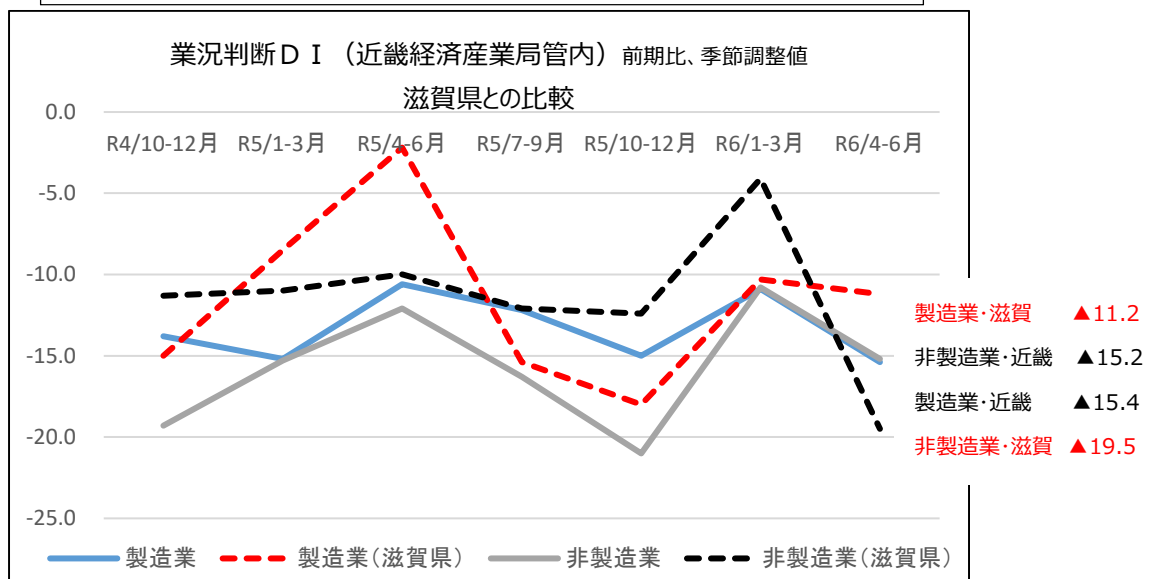
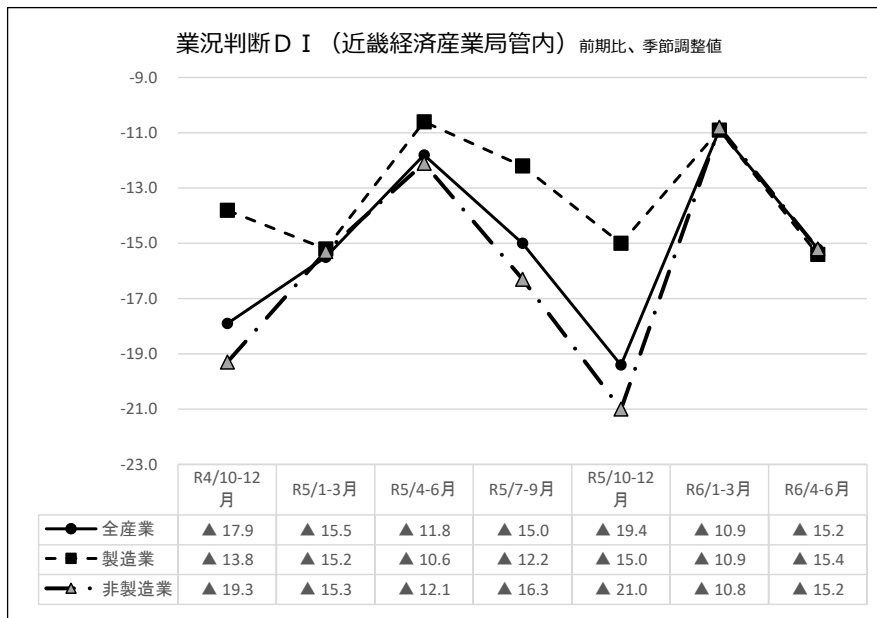
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）（2024年5月指標を中心として）

近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産は、底堅い動きがみられる。個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに改善している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱含みで推移している。貿易は、輸出は前年同月を上回った。雇用は、緩やかに持ち直している。先行きについては、物価上昇の影響、人手不足や賃上げの動向、為替の変動、中国をはじめ海外経済の動向を注視していくことが必要である。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

① 業種別業況判断DI



4. 全国の景況

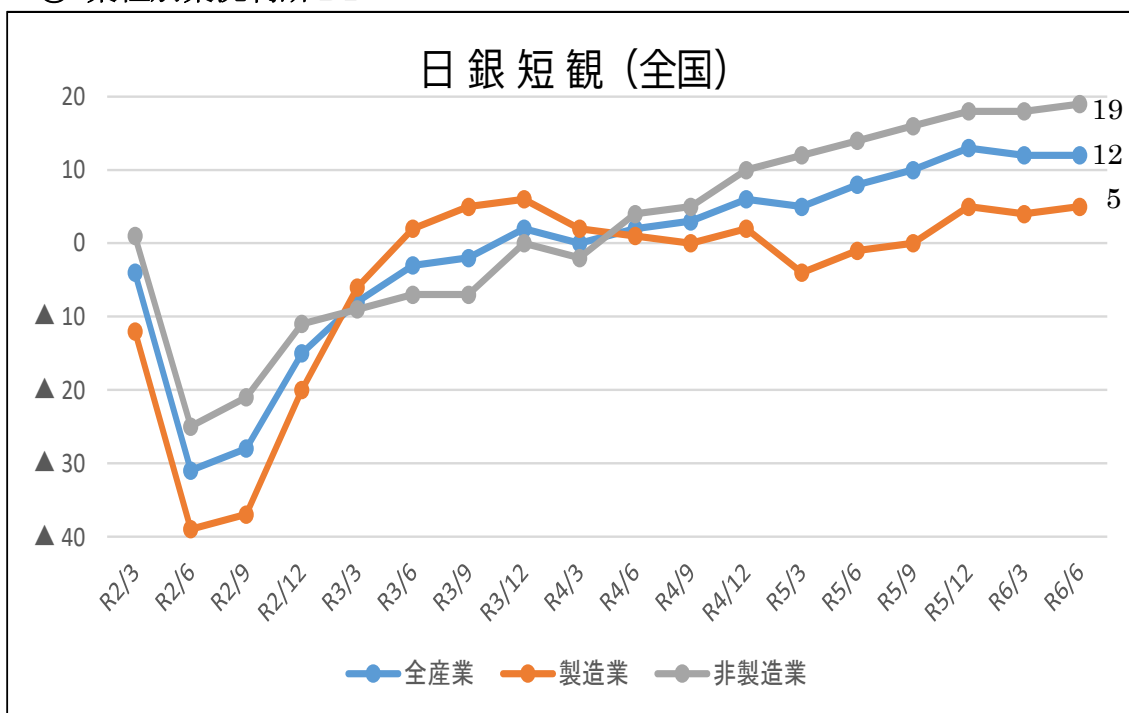
(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

① 概況

- ・大企業製造業は、前回調査から2ポイント改善の13となった。景況感の改善は2四半期ぶりで、景気の底堅さを示す結果となった。素材業種では、総じて市況が持ち直す中、業績の改善期待の高まりを受けて繊維や石油・石炭製品等を中心に景況感が改善した。また加工業種では、相次ぐ不正問題の影響で自動車の景況感は悪化したものの、堅調な設備投資需要に支えられて業務用機械等を中心に全体としては小幅に改善した。
- ・大企業非製造業は、前回調査から1ポイント悪化の33となった。景況感の悪化は2020年6月調査以来4年ぶりだが、水準としては歴史的な高さにある。通信や運輸・郵便など一部の業種で景況感の改善が続いたものの、自動車の供給が滞った影響で販売に弱さが見られた小売や、人手不足が深刻な対個人サービス、宿泊・飲食サービス等で景況感が悪化し、全体を押し下げた。
- ・中小企業は、製造業では前回調査から横ばいの-1、非製造業は1ポイント悪化の12となった。製造業、非製造業ともに、景況感は総じて弱い動きとなった。コストの増加や人手不足の深刻化が、収益基盤の弱い中小企業ほど悪影響となっているとみられる。一方、自動車は大企業以上に改善しており、前回調査で悪材料となった一部自動車メーカーの品質不正問題が解消へ向かったことが、中小の部品メーカーの景況感を押し上げたとみられる。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2024年7月1日)より）

② 業種別業況判断 DI



③ 設備投資計画

- 2023年度は、大企業製造業では前年比+11.1%、非製造業では同+10.4%と、3年連続で前年比プラスでの着地となった。また中小企業については、製造業では投資コストの高まりを受けた投資の先送りや計画の見直し等もあって前年比-9.1%と前年割れで着地した一方、非製造業では同+20.8%と大きめの前年比プラスで着地した。
- 2024年度は、大企業製造業では前年比+18.4%、非製造業では同+7.0%と、いずれも例年通り上方修正された。コロナ禍で先送りされていた老朽設備の維持・更新投資のほか、脱炭素に向けた環境対応投資など、昨今重要性が高まっている投資への需要増加も下支えとなり、堅調な滑り出しとなった模様だ。また中小企業では、製造業、非製造業ともに前回調査から例年通り上方修正された。製造業では2023年度中に予定されていた投資の一部が先送りされた影響で昨年と同じく高めの前年比プラスが計画されている一方、非製造業では例年通り前年比マイナスの計画となっている。

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2024年7月1日)より)

設備投資計画 (含む土地投資額)		2023年度(実績)		2024年度(計画)	
		6月調査	3月調査	6月調査	6月調査
大企業	製造業	11.1	8.5	18.4	
	非製造業	10.4	1.5	7.0	
中堅企業	製造業	9.0	10.8	17.1	
	非製造業	13.1	5.7	3.7	
中小企業	製造業	-9.1	3.6	13.0	
	非製造業	20.8	-6.9	-7.2	

* 除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

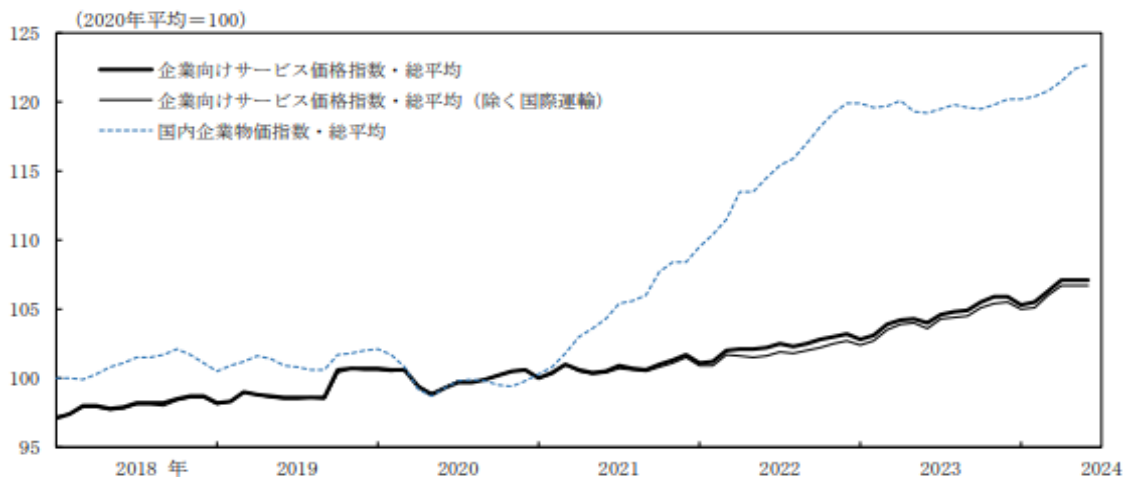
* 大企業：資本金10億円～、中小企業：同2千万円～1億円

ソフトウェア投資額		2023年度(実績)		2024年度(計画)	
		6月調査	3月調査	6月調査	6月調査
大企業	製造業	11.0	6.6	19.1	
	非製造業	7.5	6.5	14.3	
中堅企業	製造業	14.6	7.5	12.5	
	非製造業	8.7	8.1	6.3	
中小企業	製造業	8.9	11.4	25.3	
	非製造業	24.5	2.1	6.0	

研究開発投資額		2023年度(実績)		2024年度(計画)	
		6月調査	3月調査	6月調査	6月調査
大企業	製造業	4.4	0.3	6.1	
	非製造業	8.4	2.8	7.1	
中堅企業	製造業	2.3	4.4	6.4	
	非製造業	61.8	12.1	22.9	
中小企業	製造業	2.0	-3.2	0.5	
	非製造業	9.1	5.6	8.6	

④ 企業物価指数および企業向けサービス価格指数 (2024年6月速報)

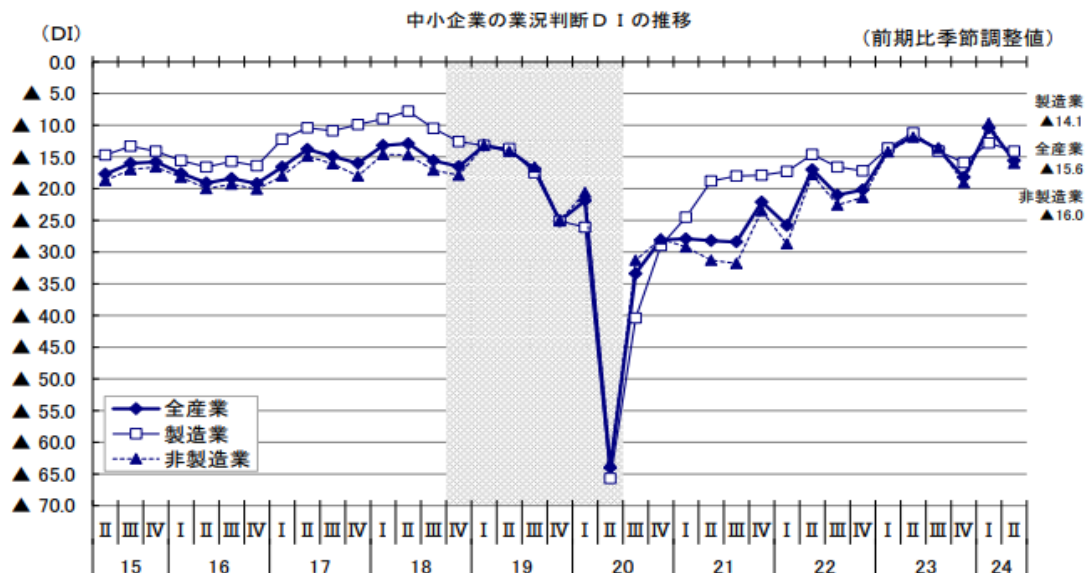
国内企業物価指数は122.7、前年比2.9%で5カ月連続で伸び率が拡大。企業向けサービス価格指数は107.1、前年比3.0%で11カ月連続で2%を上回っている。



(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編)「全国」[前期比較]

①業種別業況判断DI

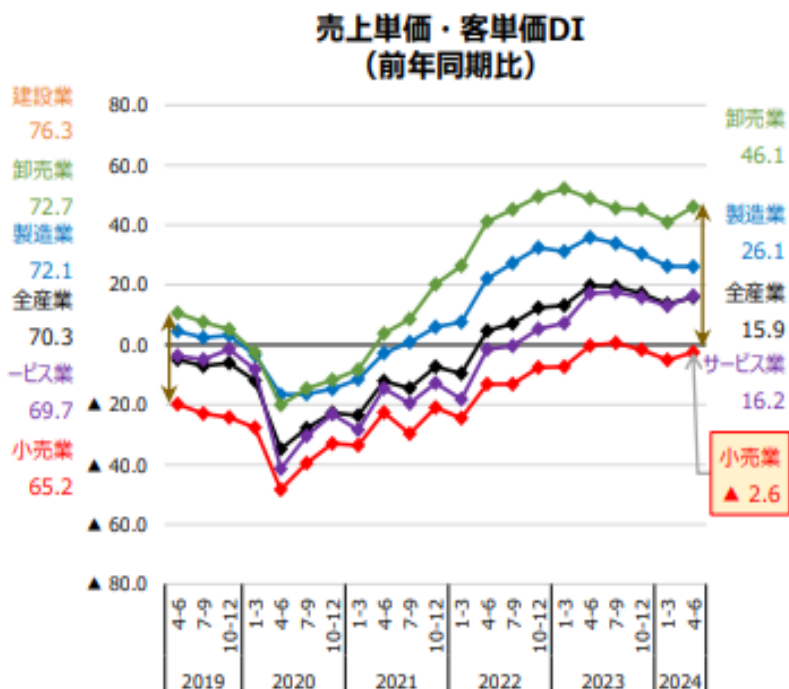
全産業の業況判断DIは▲15.6（前期差5.2ポイント減）となり、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。製造業は▲14.1（同1.3ポイント減）、非製造業は▲16.0（同6.3ポイント減）で両業種とも2期ぶりにマイナス幅が拡大した。



(注) 網掛け部分は景気後退期

②トピックス：売上単価・客単価DIは、産業別の格差が拡大

「売上単価・客単価DI（前年同期比較「上昇」－「低下」）は、小売業のみが▲2.6とマイナス圏となっており、コロナ前に比べて産業間の格差が拡大している。



(中小企業診断士 川副 郷一郎)